

「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」

管理職養成学校ニュース



2021年8月30日発行 (No.1) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net



全国会議として、いよいよ開校です！！

第1期生となる18名の受講生を迎え8/26に開校式を終えることができました。同友会として全7期開催した養成学校を引継ぎ、社会福祉経営全国会議として、そしてオンライン中心の新たな試みでのスタートとなりました。管理職養成学校の内容、意義などを全国の皆さんにお伝えできるよう今後も継続して養成学校の様子をお届けしていきたいと思っています。



社会福祉経営全国会議 茨木会長の挨拶

「私たちが民主的な経営の力を高めていくために、この養成学校はとても重要な役割を持っています。1期生の責任、役割はとても重要。まずよく話をしてほしい。施設のこと、法人こと、社会福祉のこと、人権のこと、平和のこと、国のこと、自分のこと、そしてこの半年の経験を現場にいかしてほしい。要は自らがどう学ぶのか、向き合うのかということだと思います。」と受講生へそして送り出し法人へのメッセージを花火会場から(?)お話しいただきました。

開校記念講話 ～管理職養成学校 浜岡校長～

受講生の自己紹介から、養成学校に対する大いなる期待を受け止めつつ、講習や研修ではなく、あえて【学校】という名を標榜する意義についてのお話がありました。まず、受講生・送り出し法人・講師団・事務局が一体となり共同運営している形態や、学ぶ側の主体性が育まれる場所であるということの重要性についての言及がありました。そして、同友会主催の養成学校から受け継ぐ、【学びの「密」(密着・密接)や「熱」】をコロナ禍の時代に対応させながら、全国会議の学校として新たな形で発展させ深化させていくことへの期待が語られました。



第7期生の代表 養成学校の先輩にあたる、松永さん、西田さんが、受講生へ向けて、ご自分の経験、この学校で得たことなどを3分間でプレゼンして下さりました。この養成学校ではプレゼンテーションが毎回の講座の課題となります。そのプレゼンの見本として素敵なお話しありがとうございました。



社会福祉法人
コスモス
松永耕治さん



社会福祉法人
大阪聴覚障害者福祉会
西田美和さん



第1期受講生18名のの皆さんです！



受講生の皆さんに、開校時の率直な思い、モチベーションが何%かを書いてもらい出していただいています！
この後、お一人ずつ自己紹介をしてもらいました。



「正直不安がいっぱいです！」「やる気は100%でしたが、学校のことを知れば知るほど不安になっているところです。」など様々な不安な思いも沢山出されましたが、現在の自分の課題に向き合い、仲間と共に頑張っって学んでいきたいという思いは皆さんからお聞きすることができました。皆さん共に頑張っっていきましょう。

送り出し法人より励ましの言葉 ～名北福社会（愛知県）黒川富子理事長より～

「これからの法人経営、施設経営を担っていく皆さんには、この学校で学んだことを、法人や施設にいかして行ってほしい。全国の仲間とずっとつながりながら学びながら、社会福祉全体が今のような自助・共助ではなく、公的に守られていく、命が大切にされるようなそういった社会福祉を守らせていくための力になってくれたら嬉しい。また「管理職の役割」を法人の中の他の管理職にも広げて行ってほしい。そして誰もが豊かに楽しく暮らしていけるような地域づくりのためにそれぞれの施設の中で頑張っってほしい。」と受講生へ励ましのメッセージをいただきました。

ありがとうございました。



管理職養成学校とは

社会福祉法人制度改革がすすみ、公益性と非営利性を基本とする法人のあり方が問われるなか、コロナ禍で社会福祉事業の基盤のもろさがうきぼりになり、あらためて、この国に暮らす誰もが健康で文化的な生活を営む権利が保障されることの大切さが明らかになりました。そんな今だからこそ、利用者・労働者・経営を守ることを軸に、人権保障としての社会福祉事業を発展させるための管理運営が求められています。

社会福祉経営全国会議は、それを担う次代の管理職をともに育てることを目的に、受講者・法人・事務局が目標を共有し成長するという新たな形の実践的な学校です。